

建築におけるVR
(インドネシア・バンドンでの体験)

研修概要

- 渡航期間: 11月10日～11月24日
 - 渡航場所: インドネシア・バンドン
 - 受入機関: バンドン工科大学
(Institut Teknologi Bandung)
- 羽ばたけ！TUTプログラム応募目的:
- ①修士研究の調査を行うため
 - ②海外を体験するため



バンドン上空
からの写真

研究室のメンバーと2人で渡航(途中から1人)

研修概要

スケジュール

日付	午前	午後	日付	午前	午後
10(日)		飛行機	17(日)	現地調査	現地調査
11(月)	校内見学	校内見学	18(月)	VR調査	VR調査
12(火)	現地調査	現地調査	19(火)	VR調査	VR調査
13(水)	VR調査	VR調査	20(水)	現地調査	現地調査
14(木)	VR調査	VR調査	21(木)	現地調査	現地調査
15(金)	VR調査	VR調査	22(金)	図書調査	図書調査
16(土)	現地調査	現地調査	23(土)	ジャカルタ	ジャカルタ
			24(日)	飛行機	

バンドン

- インドネシア第三の都市
- アジア・アフリカ会議が行われた場所(1955年)

	バンドン	豊橋市	大阪市
推定人口(人)	(2010年) 2,394,873	(2019/10/1) 373,606	(2019/12/1) 2,743,161
面積(km ²)	167.67	261.86	223
人口密度 (人/km ²)	14,976	1,427	12,180



バンドン→



約10倍

http://www.craftmap.box-i.net/country_map.php

目的①: 修士研究の調査を行うため

• 修士研究の概要:

バンドンにある現在空き家の歴史的建物をケースとして、VRモデルを作成し改修につなげる

• 結果:

- ①バンドンの街並みを確認できた
- ②被験者実験では予定していた人数を完遂



目的②: 海外を体験するため

• 結果

- ①インドネシアの建物を多く見ることができた
- ②インドネシアの食べ物を多く食べることができた
- ③バンドン工科大学の授業を見学させてもらえた



まとめ

- 2つの目的を達成できた
 - ①修士研究の調査を行うため
 - ②海外を体験するため
- 羽ばたけ！TUTプログラムの魅力
 - ①海外の経験が少ない人ほど後押ししてくれる
 - ②TOEICスコアは奨学金の受給に関係ない

学び

- 空港前に停まっているタクシーに乗車したが、料金が高かった
 - 値段交渉技術を磨く
 - Grabなどの配車サービス知っておく
- インドネシアの方との会話で翻訳アプリに頼っていたが、通信が圏外のためできないことがあった
 - オフラインで翻訳できるアプリを利用する
 - インドネシア語を話すことができるようになる
- 最終日に現金を使い過ぎたため、博物館の入場料を支払えなかった
 - お金に余裕を持つ

